

第1回 寝屋川流域の治水施設の機能確保に関する検討会

開催方式 書面開催

開催日 令和8年7月3日（金）

参加 別添のとおり

議事概要

○検討会については、設立趣旨、規約を6月29日に各機関で確認している。

○大阪府、大阪市の発生状況と現状について確認し、今後協力していく内容を下記のとおり確認した。

応急対応について

- ・大阪府の寝屋川北部地下河川及び松原南調節池で停止した一部の排水ポンプは、現在手動運転により稼働し、排水を実施中。
- ・大阪市のなにわ大放水路は、国や関係機関への協力要請等を行い暫定的な排水施設の設置などを行うとともに、特に大雨への備えが必要となる区とも連携しながら、区民に注意喚起を行うなど、ハード・ソフト両面で可能な手法を早急に検討する。
- ・整備局の排水ポンプ車は住之江抽水所に配置済み。
- ・整備局は、毛馬排水機場の更なる効果的な運用について検討する。
- ・緊急時の排水ポンプの配置計画を大阪府、大阪市、整備局の3者で検討を進める。
- ・避難情報について、適切なタイミングで発令できるよう、大阪管区气象台と連携を密にする。
- ・市民に対して、大雨の時に多くの水が下水道へ流れ込まないように、協力をお願いする。

○大阪府、大阪市で原因を究明したうえで、今後の対策、復旧を早期にすすめることとし、整備局も協力していくことを確認した。

復旧について

- ・大阪府は、ポンプ停止の原因を究明し、施設復旧や必要な対策を実施していく。
- ・大阪府は、ポンプ停止の原因を究明し、可能な限り早期での排水機能の全面的な回復ならびに治水安全性の確保に向けて、関係機関とも緊密に連携しながら効果的な取組みを進めていく。
- ・国土交通省からも技術支援を実施していく。

別添

寝屋川流域の治水施設の機能確保に関する検討会 名簿

近畿地方整備局	河川部長
大阪府	都市整備部長
大阪市	建設局長
大阪管区气象台	気象防災部長